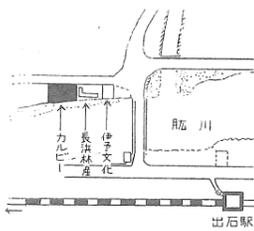




進出のカルビー製菓長浜東冷工場全景



長浜町は、長浜化成(旧福山ゴム)、宗栄産業らの第一次企業誘致について、このたび第二段ともいえる企業誘致に成功、私たちの町に、またひとつ新しい職場が誕生しました。

カルビー製菓工場誘致に成功 開拓的な会社に期待

その誘致企業とは、すでにテレビなどのCMでもごぞんじ、"かっぱえびせん"でおなじみの「カルビー製菓株式会社」の冷凍工場です。この工場は、大下須成の和産KKの工場跡を譲り受けたもので、操業内容はおなじみ、かっぱえびせんなどができるまでの製造工程の最初の操業部門に当たる、えび冷凍加工を専門に取り扱うことになっておりますが、会社はなして五億五、〇〇〇万円、小麦



当社製品おなじみ「かっぱえびせん」

あられを主体としたお菓子製造業で、製品には、おなじみ「かっぱえびせん」の九割生産をはじめ、「味王将」や「一番槍」甘からアツクなどがあります。販売ルートは、大半を国内で消費してありますが東南アジア、アメリカ、ヨーロッパなどへの輸出も行っており、ことしの三月には、アメリカに「カルビー・フーズカンパ

施政方針 内政充実めざす年

町長任期最終で全力投球

昭和四十五年当初予算などを審議する、長浜町議会第一回定例会は、三月二十日から二十七日までの八日間の会期で開かれました。会期中に提出された議案は、二十五件で、いずれも原案どおり可決されました。

予算成立 総額八億余円

町民税は20%減税

一町議会

二十日の本会議では、まず八日間の会期を決めた後、議長報告と町長の施政方針演説、さらに大野助役から議案説明が行なわれました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

昭和四十五年当初予算などを審議する、長浜町議会第一回定例会は、三月二十日から二十七日までの八日間の会期で開かれました。会期中に提出された議案は、二十五件で、いずれも原案どおり可決されました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

議案は、二十六日各常任委員会で審議され、最終日二十七日一般質問のあと委員長報告の後採決に入り全議案原案どおり可決、報告案件は、八件のうち六件が受理され、二件が継続審議されることになりました。

Advertisement for 'Nippon' newspaper with logo and text.

発行所 長浜町役場 愛媛県喜多郡

印刷所 愛媛協同印刷機 3月末人口世帯数 人口 14,497人

Table with 3 columns: Date, Event, Details. Includes items like '3月町政日誌', '2日 町議会', '3日 町議会', etc.

自衛官募集 一、応募資格 満十八才以上、二十四才以下

ゴミは直接ゴミ箱に入れないで、まず、内容器に入れましょう。

四角四面の議論もさることながら、ふだん着にくくろぎ、一杯気味での奇談放言にもアツと驚く真理の断片が舞い踊ることがある。

一小学校を「大和小学校」に、大和第一小学校を「豊茂小学校」に改められまし

雷はなぜ鳴るか。空中の水の粒がぐるぐる舞うている内に小さな電気が起る

肱川嵐

て、あちこちでゴロゴロと鳴りはじめた。過密過疎だ。公害だ。交通事だ。米の生産過剰だ。

施政方針の概要



西田 町長

内政充実し 生活環境の整備を

戦後わが国は、驚異的な高度経済成長を遂げ、アメリカ、ソ連につぐ世界第三位の経済大国となったが、この反面、一般に高度経済のひずみとなえられていく好ましくない現象が生じていることを見逃すわけにはいかない。その第一に、過密過疎の問題、農林水産業の行きづまり傾向の発生、第二には、公害および人間喪失、人間疎外の問題、第三に、経済大国すなわち経済動物という軽べつ的な言葉で表現されている一種の不信感が生じていること、であり、この三点は、国際的にも国内的にも、また、わがわれ自治団体にとっても早急に解決をはかるべき緊急の課題である。

佐藤総理が、また、アメリカのニクソン大統領においても共に四十五年度、内政充実を表明しているが、本町においても経済格差の悩みを解消し、生産性を向上して町民所得の増大をはかるため、努力を継続するとともに、国際的、国内的諸情勢に即応した内政充実、社会生活環境の整備に重点をおかねばならないと考える。

六つのポイント

以上の基本線に基づき四十五年度施策のポイントとして、つぎの事項があげられる。

- 一、大型臨海工業開発の推進
- 二、災害復旧事業の継続
- 三、交通体系、すなわち県道、町道、農林道などの大巾改良舗装促進
- 四、農林水産業、商工業など、大きな曲がりかどにきている地場産業の振興対策
- 五、民生、衛生など、住生活環境の改善整備
- 六、学校教育、社会教育の新时代に即応した実践活動の促進

うに融合させ、発展させるべきかの重大問題を考え合わせる必要があり、これを再吟味しておくことが必要と考える。さらに、もう一つは、基本構想で、約一五〇万坪の用地を造成し、これに石油コンビナートのごとき一大装置産業を一手に建設せよというような印象を与えていたが、このような新産都方式、あるいは、工特地域のような方式は、新しく開発されようという本町のような場合は無理である。

このため、まず最初は、土地造成の効率にマッチした造船業、鉄工業など、手取り早いものから受け入れを開始し、これらに順次積みあげる方向で、最終規模に拡大する方向をとることがより現実的であると考えられる。また、公害その他の不安感については、目的が住民福祉の上に立っている以上、絶対に公害がよぼさないような最善の道を選ぶことは、至上命令であり、これを堅持することと強調する。

業構造改善事業の計画実施など、あらゆる制度および国、県の援助、助成措置をとらえて恒久的な第一次産業の振興策を打ち出した。

つぎに、水産業では、今後の臨海工業との関係も考慮し、一つには観光漁業の育成、さらに沿岸漁業から近海漁業への脱皮進出を指すべくと考える。

また、商工業では、根本的には、人口流失の続く現下の長浜町では絶対的発展を歩むは困難である。望みは大企業の立地による人口増加、または関連工業の需要増大にかかっていると思

しかし、この場合でも、消費人口が松山や大洲市へ逃げるような魅力のない商店街であってはならないため、真剣な研究と検討が絶対に必要だと考える。

つぎに、民生安定、衛生、社会など、生活面での諸施策では、まず、火急の問題であるゴミ処理の問題を解決するため、この際思いきって大型焼却炉の建設を決定した。また、住民の健康管理については、これまでの保健衛生諸事業の上で、町独自の働く婦人の健康診断を加えたい。さらに新しいこととして、救急自動車と患者輸送車を兼ねた車を備え、人命尊重の運営をはかりたい。つぎに民生関係では、八十五才以上の高齢者に年三、〇〇〇円の年金を、また、十八才未満の重度心身障害児に月一、〇〇〇円の手当を支給するよう、独自の制度の創設を計画した。そのほか、たきり老人をはじめ、老人ホーム入居希望者の増進に伴い、白山園の増築、さらには大洲市、喜多郡の組合員として特殊老人ホームの建設計画を進めている。

最後に教育の問題については、今年度は老朽校舎の改築を順次やる計画だったが、本年度にこれを行なうことは、補助金制度の関

係で大きな不利を招くので四十六年度に廻し、今年度は長浜中学校に、小中学校兼用の水泳プールを建設したい。また、青年教育は新時代の波に対応する気概を養うため、県外施設などでの研修助成措置を、また、公民館活動については、今後は分館、部落館などの建設と助成を進めたい。

このほか、町民所得の超過課税については、四十五年度六〇%、四十六年度四〇%の減税を実施して完全な超過課税解消をはかる。また、公安業務関係では、消防団員の訓練強化、消防水利の整備、交通安全指導員の整備強化と関係協

ある。この問題は国が抜本的な対策を講じないかぎり町や市では解決できない。しかし放置はできないので今後は医師会との連絡をとりながら問題が起きやすい場を重点的に、また、緊急な場合は構内、豊茂診療所に雇い入れた医師をもつてこれに対処したい。

池田 登氏

【質問】 県の南予開発に伴って、本町の諸産業に与える被害について、どのような対策を講じているか。

【回答】 大洲市を中心に喜多郡が一体となり、鮎川利水対策協議会を市町村で結成して、このような大きな動きにたいして着々と対応している。この一つに現在または、今後利用されようとする水の確保、漁業などに与える影響などを真剣に検討してゆくことが当面の急務とされている。

小川 三郎氏

【質問】 建築物に合った消防器具の整備充実をはかられるよう努力されたか。

【回答】 長浜町のような財政規模の単位、特に常備消防を置いていないような類似町村と比べると、本町の設備は非常に進んでいると思

四月一日から、長浜町交通安全推進協議会は、整備された新しい体系で、より活動を強化推進することになりました。

本会では、これまでの交通安全活動推進の指導態勢が、国、県、警察など、それぞれ立場からバラバラに活動していることから、この活動の強力な統一がと

【質問】 林業構造改善について、町当局の今後の進め方を伺いたい。

【回答】 このことについては、すでに県とも接渉を重ねており、四十五年度は、これらの計画策定に入り、四十五年度から実施してゆくと、このため生産基盤整備事業費として四、一〇〇万円、資本整備の高度化事業費に三、一〇〇万円を計上し、現在森林組合と主管課で具体的に進めている。

堤 正和氏

【質問】 駐車禁止区域の増設に伴い、必然的に区域外の駐車場の状態がみだりになり、交通安全上好ましくない。これについて良策はないか。

【回答】 ①駐車区域の指定地および予定地はないか。②駐車禁止区域の部分的な取り消し申請をする考えはないか。

【回答】 ①本年度事業には入っていないが、四十六年度に、フェリー着場付近と農協前の所を無料駐車場にしたい。②管轄が公安委員のため、相方と協議をしていないと返答はできない。

【質問】 広報紙によると、ゴミ収集回数が増えたとあるが、夏季の場合も同じか。

【回答】 必要性の実態に合った回数にしたい。

交通安全推進協議会 新体系にゆりかえ 部別活動と指導員が主役

四月一日から、長浜町交通安全推進協議会は、整備された新しい体系で、より活動を強化推進することになりました。

本会では、これまでの交通安全活動推進の指導態勢が、国、県、警察など、それぞれ立場からバラバラに活動していることから、この活動の強力な統一がと

この結果、まず、活動推進母体が明確化され、これまでの民間的な推進体系から、今後は町の行政事務としての体系に組み込まれることになり、町長が会長となつてこの活動を推進することになりまし。そしてこの下部に副会長や理事などの役員が配置されるとともに、混合的であったこれまでの関係団体を実施に合った実践活動がしよいように、それぞれ活動別部門に分けて配備、さらにその部会活動の中核となる団体をはっきりさせることになり充実した活動が期待できるよう改善されました。

その部会とは、総務部、運転者部、歩行者部、学校部、交通安全推進協議会(各種関係団体の代表者)の四部会です。

総務部会 総合企画、連絡調整、指導取締り、交通規制、交通相談、事故救済

運転者部会 交通安全法令教育、車輪整備、安全運転など運転者を中心とした安全活動を推進する。

歩行者部会 歩行者保護とくに幼児、老人、婦人など弱い立場の者の保護を中心とした交通道徳の普及高揚を目的とした指導と活動を行なう。

学校部会 交通安全教育の立場を基本として、交通安全思想の普及確立をはかり、これに必要な指導と活動を行なう。

また、交通安全運動を推進してゆく中核には、運転者指導員、婦人指導員、学校指導員および交通安全相談員が設置され、実質的にはこの指導員の活動に期待が寄せられています。

総括	総合機関	部会名	中核となる組織	部会に属する組織団体
町長 一町交通安全推進協議会 (各種関係団体の代表者)	総務部会	総務部会	交通相談員(交通相談所)	町、警察署 議会(総務課) 消防団(町建設課) 施設関係(町建設課)
		運転者部会 (運転者を主な対象とした活動を行う)	車両交通指導員	町内各交通安全協会 国鉄伊予鉄等陸上交通業者その他陸運業者車輛を所有する組織雇用主 (町事業課)
		歩行者部会 (歩行者保護を中心とした活動)	婦人交通指導員	婦人会、青年団、PTA、愛護班交通安全となり幼稚園(区)公民館、保育所、幼稚園老人ホーム、老人クラブその他一般歩行者福祉関係者(住民課社協等)
		学校部会 (交通安全教育を中心とした活動)	学校交通指導員(小中高交通安全クラブ)	町内の小学校 中学校 高等学校 教育関係者(教委等)



「入学おめでとう!!」のまに気をつけるんだよ」春の交通安全運動中、先頭きって安全を呼びかける西田町長(8日入学式の日、本町通りで)

広報宣伝などを行なう。運転者部会、交通安全法令教育、車輪整備、安全運転など運転者を中心とした安全活動を推進する。

歩行者部会 歩行者保護とくに幼児、老人、婦人など弱い立場の者の保護を中心とした交通道徳の普及高揚を目的とした指導と活動を行なう。

学校部会 交通安全教育の立場を基本として、交通安全思想の普及確立をはかり、これに必要な指導と活動を行なう。

また、交通安全運動を推進してゆく中核には、運転者指導員、婦人指導員、学校指導員および交通安全相談員が設置され、実質的にはこの指導員の活動に期待が寄せられています。

